

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 潮 東 印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-117 毎月 1日・15日発行

人口と世帯

世帯数 3,966 世帯
人口 17,067 人
内訳 { 男 8,246 人
女 8,821 人

住民登録調 (52年9月末日現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

大川地区は一〇六%の作況指数
今年の稲作は豊作であった。九月十七日農業委員会が全町水稲作況調査をしたところ、平年に比して一〇四%の作況指数が出ている。中でも大川地区は一〇六%で、十アール当りの予想収量が六一〇キログラムを指しており、同地区の十アール当り平年収量より三五キログラム増収の見込みである。
しかし、面潟、富津内地区のように一〇二〜一〇三%とその伸び率が平均より下回っているところもある。この主な原因は明かではないが、コンバイン志向型で、倒伏しない稲作りに励むあまり、直立不動型を育ててしまう傾向にあると聞く。収穫作業の能率と収量のバランスはそれだけ難かしいのだろう。

豊作を支えた天の恵み

見込まれる二万俵の余り米

この町の作付面積は、五十年の千六百九二ヘクタールから年々増えて、五十二年は千七百九二ヘクタールになっている。土地改良、基盤整備の復旧作付分を差し引いてもなお多い。自主開田が多いためだろう。米不足の時ならいざ知らず、米が余っている現実を思えば農家同志でも複雑な心境になるだろう。豊作貧乏にならないように、みんなの英知で明るい方向に結びつけていきたいものだ。

心配な余り米の売りさばき
豊作が喜ばしいことに違いないが、余り米の売りさばきが心配される。五十年の売渡総数が十四万七千九百六十俵、五十二年が十四万一千三百四十四俵、今年の売渡限度数量は十三万三千四三二俵となっているが、売渡可能数量が十五万三千四三九俵で、余り米が二万俵を超えるものと予想されている。全国的な豊作だけに、政府保有米が四百万トンを超えるのは確実とみられ、今臨時国会でも来年度からまた減反、転作政策を強めていくことを心配している。

たたわな実りにコンバインの足取りも軽〜



(広報紙中に載る写真を欲しい方にはお返しします)

産業文化祭のご案内

第一会場(広域体育館)

木工、家具、工芸、民芸、食品の各展示即売会

町功労者表彰式典

講演会、演芸行事

菊花展、盆栽展、生花展、お茶会、植木即売会

第二会場(農協会館)

農産物、農林加工品展示

農機具展示

生活工夫展

老人クラブ作品展

第三会場(町民センター)

小、中学生の作品展

観光展、財政展

町文芸協会図書展

行事日程

十一月二日(水)

出品物審査 各会場

褒賞者発表 各会場

十一月三日(木)

秋田県森山登山大会 午前九時 第一会場

町功労者表彰式典 午前十時 第一会場

十一月四日(金)

各種相談コーナー 午前九時 第二会場

町民慰安演芸会 鎌田寛水一行 午後二時二十分 第一会場

十一月五日(土)

各種コーナー 午前九時 第二会場

おらが町の芸しまん大会 午後一時 第一会場

十一月六日(日)

講演会 講師 大島清蔵先生 午前十時 第一会場

褒賞授与式並びに閉会式 午後一時三十分 第一会場

交通安全座談会

マナーが悪い大人の自転車乗り

秋の交通安全旬間は、九月二十一日から三十日までであったが、本町では、十五日、十六日連続して死亡事故が起きて異常事態となった。高校生といいたくない子どもの事故だけに、町民に与えたショックも大きく、あらためて交通事故対策と、個人個人の意識の高揚が話題になったのである。このたび、交通安全にたずさわっている関係組織の代表者から、それぞれの意見を伺い、紙上座談会形式でまとめてみたので、交通安全の意識高揚に役立てばこの上ない。

町内における連続交通事故死に町民のショックも大きい、ひとつ若年運転者に対するご意見をお伺いしたい。

青年男子九六%免許取得

警察署長：青年男子の九六%は免許取得者であり、女子についても五〇%近くになっている。この人達の事故が全く無くな



れば、秋田県の交通事故の半分はなくなる。特に死者についてはそう言うことが出来る。

鳥井：高校生のバイクの事故が相ついでいるが、学校でバイクの登校を規制しても有資格者であるため目の届かぬ所の事故が多い。いっそのこと、高校生には免許を与えないという制度化が欲しいところである。

免許取得年齢を引き上げては

猿田：免許取得年齢をもっと引き上げたかどうか。高校生が乗れるというのも事故防止には結びつかないと思う。

効果のあった一日指導隊
柳原：若者たちのエネルギーをスピードに結びつけて発散していることは、非常に残念な事だと思っている。

昨年からの町内の青年を対象に一日指導隊を体験してもらっているが、車の流れ、運転者歩行者のマナーを客観的にみる立場で非常に効果があると思っている。

高校生の有資格者からも是非体験してもらって、交通ルールの厳しさを理解してもらいたいと思っている。

近江：それは学校側ともよく話し合った上で、夏休み



リンゴを配って安全運転を呼びかける母の会の会員

や冬休みを利用して実現したら効果があると思う。

若年運転者の事故防止のみならず、交通の安全は本人の自覚が基本であるが、地域ぐるみで運動を展開しないことには、著るしい効果は期待出来ないのではないか

二十四歳以下を若年運転者と称してはどうか、この対策を具体的にはどのように展開しているだろうか

署長：私の方では、名簿一覧表を作製の上、一軒一軒訪問してチラシを配り、意識の高揚に努めている。

その外安全期間中は、内勤以外の署員はすべて外へ出て取締りを強化している。警官が街頭

へ出ると、運転者に対してある程度の警戒心を与え、一時的な抑止効果というものが確かにあるようだ。

安全運動に関心

鳥井：安全協会では、事故防止の意識高揚のために、安全運転競技会を開いている。これには若年運転者も大変よく参加してくれたが、安全運動に対する関心のあらわれだと思っている。



今後いろいろな会合に出席してもらい、運動展開を積極的に進めていきたい。

本人の自覚と

家族の言葉が大切

永尾：若年運転者だけの問題ではないと思うが、やはり本人の自覚と家族の言葉が最も効果があると思うので、家族同志の話し合いの場が非常に大事だと思う。

柳原：交通安全運動は、若年者だけの取締りだけとか、歩行者の指導だとか、バラバラの指導強化でなくて、一体化の必要があるように思う。

そのためには、やはり一人でも多くの人から街頭に立ってもらって実情をよく理解してもらい、ことが最もよい方法だと思ふ。チラシ戦法も悪くないが毎朝新聞に折込まれるチラシにまれっことになっているので、そのままたちりかごへどさっと入れてし

まう場合が多い。

青年会の役目に期待

署長：私は交通安全協会の青年部というよりも、青年会の組織に期待したい。

地域の青年組織は最も強力であるし、全県的な連帯感もあるこの人たちが、交通安全運動、あるいは対策、意識の高揚を、青年自身の課題であるという認識を深めて、積極的に地域住民に指導性を発揮してもらいたい

秋田県は、全国で有数の酒の国であり、気候風土の関係から酒に親しむ機会が多い。それが交通事故に結びつくこともまた非常に多いわけで、この事故防止のよい名案はないものだろうか

全県一でも油断は禁物

柳原：昨年度は幸いにも酔っぱらい運転の違反者が非常に少ないというところで、全県で一カ所表彰された。非常に結構なことであるが、気を許すことの出来ない問題である。

すべてに共通するが、本人の自覚、家族の協力、この場合特

に主婦の力がもの言うので、母の会に期待している。

子どもの安全を守る母の会

永尾：私も責任者になってから日も浅いので、具体的に母の会の計画については言えないが、この交通安全母の会は、文字どおり母親として幼児を交通事故から守ってやろうとして結成されたもので、当初は保育園児の母親たちがその対象であった。このたび町内のそうした組織を一本化するために、連合会の結成をみることにしたが、大変結構な事だと思っている。対象年齢も児童生徒までと拡大され、従来よりは連絡も密になり内容も充実するものと思う

部落毎に母の会

工藤：内川地区は、部落毎に母の会があって、朝夕の交通安全指導に協力してくれている。



出席者(順不同敬称略)

五城目警察署長	成田清七
五城目町交通指導隊長	柳原繁
同副隊長	猿田日出男
五城目地区交通安全協会	
五城目支部支部長	鳥井市朗
同副支部長	近江弘
五城目交通安全母の会会長	永尾聖子
浅見内地区交通安全母の会会長	工藤佳

第十六回町内学童野球

五小Aチーム辛くも優勝

十月二日五城目小学校グラウンドにおいて、第十六回五城目町学童野球大会が行われた。

この大会のグリークホースは内川小チームであった。準決勝で五小Bチームを圧倒し、決勝戦では五小Aチームに一点差で敗れたが、最後まで試合を捨てず、出塁者を得点に結びつけあと一点に迫るなど、その粘り強さは見上げたものであった。

しかし、優勝した五小Aチームは、六回までコンスタントに一点ずつの得点が巧を奏し、追いすが内川小を振り切った。

準決勝	
内川小	0 1 1 1 1 1 0 0 0 0
五城目小B	0 0 0 0 0 0 1 0 0 0
五城目小A	3 0 0 6 0 0 3 1 1 2
五城目小C	0 0 0 0 0 0 1 1 1 2
決勝	
五城目小A	1 1 1 1 1 1 1 1 0 0
内川小	0 1 1 0 0 1 2 1 1 0
	5 6

十月三十日

五城目上小阿仁間駅伝大会

申込十月二十日まで

第十三回五城目、上小阿仁間駅伝大会は、十月三十日午前十一時から行われることになった。

今年度は、五城目側からのスタートで、五城目側がその出発点となっている。ゴールは上小阿仁間役場で、走行距離三、二〇〇メートルを五人でリレーする。

この大会は、五城目、上小阿仁間のバス運行開始記念と、両町村の融和親睦を図るための小さな催しであったが、年々参加チームも多くなり、内容も若者から老年のチームまでバラエティに富んでおり、三十チームを越えるほどになった。

家庭教育学級 第1回 合同室内運動会

～ 親と子楽しいハッスル ～

10月2日午前10時から、広域体育館において第1回家庭教育学級(自主学級)合同室内運動会が行われた。

これは、幼児から小学校6年生までの保護者で結成されている学級で、すべて自主的に運営されている。この室内運動会も、年度当初から計画されたもので、学級生の家族にとっては待たれた運動会であった。

当日は、母と子の参加はもちろん、お父さんも狩り出され、ボール送り競走をはじめ19種目にわたるプログラムのもとに楽しいハッスルで1日を過ごした。

豪チームを相手に、その榮に浴することが出来るように頑張ってもらいたい。

審判主 一ノ関

①松田 ②菊地 ③工藤

パツテリ

(五小) 菊地・伊藤、佐川

(内川) 沢田石・猿田

ホームラン 沢田石(内川)

優秀投手賞 菊地良知(五小)

打撃賞 沢田石(内川)

敢闘賞 佐川知(五小)

沢田石(内川)

工藤正直(内川)

伊藤浩行(五小)

三浦健二(五小)

館岡直樹(五小)

一、期 日

十月三十日(日)小雨決行

二、コース

第一区 広域体育館前～台

第二区 台～川堤

第三区 川堤～割山

第四区 割山～南沢

第五区 南沢～上小阿仁間役場

三、参加資格

①出場者は同一市町村に居住するものを原則とする。ただし同一職場同好者によるチーム編成でもよい。(高校生以下の学生のチーム編成は認めない)

②高校生でチームを編成する場合は、高校生のみとする。

③出場選手の年齢は五十歳未満とする。

④郡単位、同一市町村、職場チームのA、B(二チーム以上)の参加を認めない。

四、申込方法

①期 日 十月二十日(木)迄

②申込先 五城目町公民館

五、開閉会式および監督会議

①監督会議 広域体育館

②開会式 午前 十時

③出 発 午前十一時

④閉会式 午後 一時三十分

上小阿仁間役場センター

六、その他

①参加選手の健康診断書は、当日の監督会議まで必ず事務局へ届出ること。届出のない場合は出場を停止する。

②その他詳しいことについては公民館の方へお問い合わせください。

(電話 四四一一)

11月3日

森山の頂上をめざす

～ 申込 10月25日まで ～

第二十一回秋

田県森山登山競

技大会は、十一

月三日産業文化

祭の行事の一環

として行われる

が、主催側では

町内外の選手が

多数参加してく

れるよう呼びか

けている。

内容は別記の

とおりなので申

込期日、スター

ト時間など間違

いのないように

してください。

なお、各自の健康管理については十分な配慮をして、当日無理のないベストな体調で参加してください。

一、期 日

十一月三日(木)

文化の日(雨天中止)

二、時 間

受付 午前八時三十分～九時

開会式 午前九時～九時三十分

第一回目スタート 午前十時三十分

三、場 所

集合、受付、開会式 広域体育館前

出発点 中学生男女個人

中学生男女団体

森山新設道路始点

(男女別標示する)

中学生男子団体・一般個人団体

広域体育館前

決勝点 森山 山頂

四、種 目

中、生、一般(高校生含む)と

も個人、団体の二種目(八種別)とする。

五、方 法

中学生、一般とも指定コースを走り山頂へ到着した順により順位を決める。

中学生団体は五人編成、一般団体は三人編成とする。

六、参加申込期限

十月二十五日(火)

七、申込先

五城目町上樋口字堂社七五

五城目町公民館

八、その他

・コースは白線、旗等で標示

・申込みは公民館備付用紙使用のこと。

・小雨決行

・健康管理については選手の責任においてお願いする。

薬と健康の週間

あなたは薬を正しく使っていますか

～ 十月十七日～十月二十七日～

十月七日から二十七日までは「薬と健康の週間」となっている。

これは、薬のもつ特質およびその使用取扱いならびに薬剤師の役割に関する正しい認識を、広くみなさんに浸透させることにより、みなさんの保健衛生の維持に役立てようというもので、日頃安易に薬を使いすぎるきらいがあるので、この機会にじっくりと反省してみたいものである。

税金は納期内にまとめて

納めるとお得です

◎前納報奨金

納期の到来した税金を納付する場合、まだ納期の到来しない税金を前納したときは、税額の百分の一に納期前の月数(一ヶ月未満の端数は十五日以上一ヶ月とし十五日未満は切捨)を乗じて得た額の報奨金を交付します。

昭和五十一年度の前納件数は、一般町税、国保税の合計三、七四一件で年々増加しております。

◎納税の窓口について

町税の納付を取扱う窓口は次のとおりです。

今後は、所得税や電話料の取扱いと同一振替納税制度を利用すると、納税のための手数が少なくて済み、大変便利です。又、普通預金より利息の得な納税準備金制度も利用できます。

◎納付場所

秋田銀行五城目支店

五城目信用金庫

五城目町農業協同組合本所及び各支所

秋田相互銀行五城目支店

五城目町役場または大川出張所

◎軽自動車税の納税証明書は、領収書についています

軽自動車の車検の時に必要な軽自動車税納税証明書は、税金を納付したときの領収書をもって証明書に使用できます。

(有効期限、五二年度分については、昭和五三年四月二十九日)

◎軽自動車等を所有している方へ

最近また前の車を下取りに出して新車を買ったが、前の車にも税金がきているという苦情が多い。

これは関係機関(陸運事務所、軽自動車協会)にその手続きをしていないのが主な理由です。従ってそのような場合は直ちに関係機関に手続きをして下さい。

そうしないと前の所有者に課税されます。(業者の下取りに出した場合よく注意のこと)

廃車したときも同様です。(標識は必ず返すこと)

又、トラック、コンバイン等農耕用小型特殊自動車も増加しておりますが、これらも標識の取付が必要ですから、標識の交付を受けてください。

◎たばこ消費税について

たばこ消費税は、たばこの消費に対して課する消費税であります。が、専売公社が、町内の小売人に売渡した製造たばこの本数に、全国平均の一本当り単価を乗じた額を課税標準としてその一八・一パーセントが毎月町に納付されております。

最も多いときは、昭和五十二年四月分で三、四八三、七五〇本、これに本年度の一本当り単価六円七〇銭一厘を乗じたものが課税標準となるので、税額は四、二二五

千円になります。

たばこは、町内の小売人から買求め消費する程、多額の税金が町に入り財政をうるおすことになるので、町外に出張のときも、成るべく町内から買求めていただきたいものです。

昭和五二年度のたばこ消費税の収入は約四〇、〇〇〇千円に達する見込みです。

◎特別納税相談所を開設します

五城目町産業文化祭期間中の十一月四日、五日の二日間、町民センター内に特別納税相談所を開設します。町税についてわからないことやご不審の点など気軽に相談ください。

◎町税完納強調月間についてのお知らせ

月間中は、さきに広報でお知らせしたほかに次のような納税運動が、実施されます。

①町納税貯蓄組合連合会の協力を得て積極的な広報活動を行なう

②各金融機関の協力を得て、町税納付について振替納税制度の採用を進める。

③昼間窓口納付の困難な納付者に対しては、夜間徴収を行ないます。ご希望の方は、税務課へご連絡ください。

(時刻は、おおよそ午後八時頃までにねがいます。)

④納税組合未加入者の多い地域でその町内の世帯数が大きい場合は、組合運営上のことも考慮に入れ、適当な規模の組合を設立するよう指導する。

中華人民共和国の旅



西野 加藤孝一郎さん

「農業を基礎とし工業を導き手とする」中国の方針は、工業優先の感じもするが「三大格差の是正」(都市と農村、工業と農業、労働者と管理者)を大きく取り上げその改善に前向きに対処しているとの事でした。

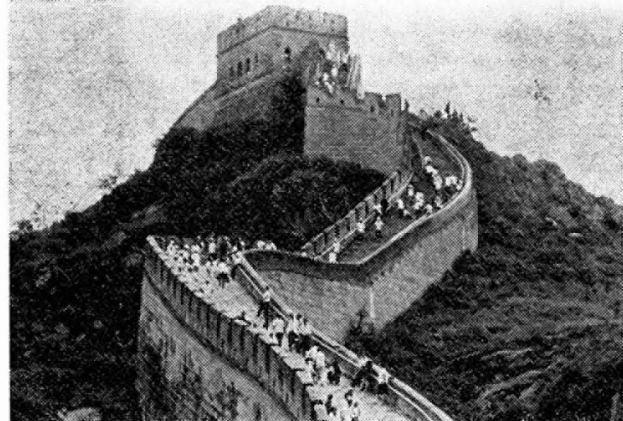
次に中国の林業についてですが果樹も林業の部類に入るそうです。日本の桐に似た幹のボブラが町から村までどこへ行っても街路樹として植えられていた。

これは中国で品種改良したもので成育もよく虫もつきにくいとの事でした。万里の長城、十三陵周辺、北京から太原行きの列車で七時間乗った山西省の駅、陽泉周辺も皆岩山で、その合間に草が生えているだけだった。

石陽県の大寨人民公社を中心に三日間の研修で見たものは秋田県と同緯度で海拔七〇〇〜一〇〇〇メートルの山は、木を植えるもの

でなく「天まで耕す」という事だった。国土は大きくとも耕地面積十四%、人口八億の食料を自給する為かもしれない。しかし台風はほとんどないけれども、雨期は水害、乾期は旱害との事で、どの河も黄色い水が流れていた。

植林計画については、頂上に松、かし、ニレ、えんじゅ、中腹に果樹(桃、ナシ、リンゴ、ぶどう、くるみ、なつめ、柿)などを植えていくとの事でした。



万里の長城は旅行者でいっぱい

料理が沢山出された。中国の、学生や学生は芸術家で歌、踊り、楽器演奏など素晴らしいものだった。日本の歌では「あかたんぼ」「そららん節」「七つの子」などをどこでもよく歌っていた。中国の歌では「我愛北京天安门」「高山の頂上に用水を造る」「華主席をはじめとする党中央を心ゆくまでうたう」「毛主席は私達の心の太陽だ」などだった。

山青く、流れの清くなったとき、中国はすばらしい国家になると思う。

政治(行政)については、共産党の一元指導により、支部は地方に従い、地方は国に従うという説明があった。

中国各地の訪問先では、革命委員会が私達を歓迎してくれ、研修地の案内、説明をしてくれた。また革命委員会の主催の招待晩餐会が五回も行われ、デラックスな



11月 ごみ収集日

町 名	11月				
	1回	2回	3回	4回	5回
希望ヶ丘	4	12	18	27	
田ヶ野	4	12	18	27	
広ヶ野	4	12	18	27	
今町	4	12	18	27	
御蔵町	4	12	18	27	
小池町	4	12	18	27	
川原町	4	12	18	27	
新町	7	14	19	29	
一番町	7	14	19	29	
古川町	7	14	19	29	
紀久栄町	7	14	19	29	
中川町	7	14	19	29	
館崎町	7	14	19	29	
岩城町	7	14	19	29	
築地町	8	15	22	30	
畑崎町	8	15	22	30	
新崎町	8	15	22	30	
矢崎町	8	15	22	30	
仲町	1	9	16	24	12月1
長町	1	9	16	24	1
米沢町	1	9	16	24	1
雀館町	1	9	16	24	1
昭辰町	1	9	16	24	1
大川一區	2	11	17	26	
二區	2	11	17	26	
三區	2	11	17	26	
四區	2	11	17	26	
富津内	5	20			
内川	5	20			
馬場目	5	20			
大(本村以外)	10	25			
面(郷)	10	25			
馬場	10	25			

◎直接搬入の場合は
前もって焼却場へ
ご連絡ください。
(電話 3958)

- 1 廃棄物は、袋、標識のないものは収集されませんので必ずつづけるように。
- 2 特別重いものや大きい廃棄物は遠慮願う。
- 3 廃棄物一箇の大きさは、リング箱程度に定めてあるので厳守のこと。
- 4 廃棄物収集所には収集当日午前8時までに。
- 5 焼却場休みの時の直搬は受付しない。

※直接搬入の場合は前もって焼却場又は柳原へ御連絡下さい

焼却場 電話 3958 柳原 電話 2387

五城目婦人会奉仕クラブでは、東南アジアの結核撲滅運動に協力するため十二年間も古切手の収集にあたっている。

その数は一二三、七〇一枚にもなり、会員の努力は勿論だが、多くの方々にご協力をいただいた賜物と感謝している。

結核をなくするための運動が展開されている。この機会に、捨てる切手がありましたら五城目婦人会の奉仕クラブを担当している石井アイ(中川原)、八木下みき(築地町)さんに届けてほしいとよびかけている。

結核撲滅運動

捨てる古切手は

五城目婦人会へ

★ご不明の点は近くの当社事業所にお問い合せください。その際は最近の領収証に表示してあります。需要家番号を合せてお知らせください。

東北電力五城目出張所
(電話 二〇四九番)

老人ホームに寄せられた善意

十月一日

茶、枕カバー

五城目高校家庭クラブ十三名

十月五日

サンケイ新聞写真ニュース

専用掲示板 一枚

サンケイ新聞写真センター

秋田企業株式会社



おしらせ

- あなたの家は安全ですか
- 消火器や消火バケツはすぐ使える場所においてありますか。
- 備えあれば、おが家は安全——風呂の水も防火用水に役立ちます。

催すことにしている。いろいろな事情から、止むを得ず出稼ぎを余儀なくされている方のため、出稼ぎ互助会加入促進、現地事業訪問など安全就労をねらいとして、毎年積極的な対策を打ち出している。

当日午前九時から各種にわたる健康診断を行うので、是非この機会に受診して、留守家族も安心出来る健康な体で出稼できるようなしてきたい。

なお、留守家族と本人の激励を兼ねて、鎌田寛水一行による慰安演芸会も計画しているので、多数おいでくださるよう担当課では呼びかけている。

内容は次のとおり。

一、日 時 十一月四日(金)
午後一時

二、場 所 広域体育館

三、健康診断

当日午前九時から、県成人予防協会、五城目保健所、町保健婦によるレントゲン撮影、血圧測定、聴打診、心電図検査、眼底検査、血液検査、尿検査を実施する

インフルエンザとは!!

私たちはよく「かぜ」をひいたといいますが、症状を起こさせる病原体としてはインフルエンザウイルスのほか、パラインフルエ

③互助会に加入しても、就労前健康診断を受けない場合、病気の際見舞金の給付が非常にむずかしいので、特に注意してほしい

④また出稼労働手帳は三年間有効なので、今回の就労前健康診断の証明には必ず持参ください。

①推進大会には、秋田県出稼対策室長、秋田公共職業安定所長などがおいでになり、出稼対策事業の説明をすることになっていく。

②当日互助会加入を受付るので、就労先の住所を明確にしてください。

ンザ、RS、アデノ、ライノ、腸管系などの各ウイルスやマイコプラズマなど知られています。

一般に「かぜ」と云えば、すぐに「インフルエンザ」を連想するほど「かぜ」の代表的疾患である「インフルエンザ」は、イラールエンザウイルスの感染によって起こる伝染病で、人から人に飛まつ感染し、毎年十一月ころから、翌年の三月ころまで流行が起ります「インフルエンザ」にかかりますと、一、二日の潜伏期ののちにとつぜん悪寒を伴って、三八、四〇度Cの高熱を発し、頭痛、せき、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、食欲不振、筋肉痛、関節痛などの症状があらわれます。これらの症状は通常、数日で快癒しますが時には重篤な合併症を伴うことがありますので充分注意しなければなりません。

現在「インフルエンザ」に対する特効薬はありませんので、ワクチン接種を強力に推進し免疫を与えることによって、流行の未然防止を図る最も適切な方法であるため、集団生活の場が流行の原因で

◎国保助産費六万円に増額

国民健康保険に加入している方が出産したときに支給する助産費補助金を十月一日(十月一日以降に出産した方)から六万円(改正前四万円)に増額支給いたします

なお、この助産費の支給対象となる「出産」には、妊娠四カ月以上の生産、死産、人口流産などすべてが含まれます。



もあることから、本年度も学校、幼稚園、保育所などの児童、生徒を対象に勧奨による予防接種を実施したいので、一般家庭には特段のご協力を願いたい。

十一月から

検針日・集金日が

変わります

現在の検針・集金の日どりは十一年前に定められたものです。その間いろいろな変化がありました。お客さまの数が十一年前にくらべて大幅に増加

・自動支払利用の拡大

・住居表示制の進展など

★この変化に対応し、今後お客様関係の業務を一層円滑に進めるため、五十二年十一月から検針日および集金日を変更させていただきますのでご協力ください

★なお検針・集金は休日にお邪魔しないよう運用になります

★変更になります集金日につきましても、まえもってお知らせいたしますので電気料金のお支払い方よろしくお願います。

また、場所によってはこれまでの担当者が変わることがあります。

★ご不明の点は近くの当社事業所にお問い合せください。その際は最近の領収証に表示してあります。需要家番号を合せてお知らせください。

東北電力五城目出張所
(電話 二〇四九番)

老人ホームに寄せられた善意

十月一日

茶、枕カバー

五城目高校家庭クラブ十三名

十月五日

サンケイ新聞写真ニュース

専用掲示板 一枚

サンケイ新聞写真センター

秋田企業株式会社